

関連産業振興委員会

◆中期計画

関連産業振興委員会では委員会全体の運営を取りまとめる運営委員会のもと3 専門委員会(関連産業専門委員会、学術専門委員会、研修・連携専門委員会)を置き、経済・技術環境等の外部環境の変化に柔軟かつ迅速に対応し、JIRA 関連産業(モダリティ機器、ソフトウェア、周辺機器、関連用品、関連工事、測定管理、保守サービス等)の発展振興のための施策を企画するとともに、より多くの会員企業の理解と協力、参加を得るべく交流地域を広げ推進する。

◆2026 年度活動

「JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2030」にある5つのビジョンを受けて、関連産業振興委員会としては以下の事業活動に注力する。WEB 会議を中心に活用し実現が可能な内容に絞って活動展開を図る。

- 委員会活動を通じて5つのビジョン(①JIRA 産業の振興と関連領域との連携強化、②「データが変える医療」の実現に向けた環境整備③医療機器に即した法規制、保険制度の実現④グローバル市場での競争力の強化⑤持続可能な医療を提供する産業構築)を念頭に入れ、タイムリーな話題に着目し、企業が必要とする情報を提供し方針や製品開発のヒントになる情報提供の活動をする。
- 委員会内の役割分担を明確にし、新規委員募集とともに世代交代も含め委員会活動の活性化を図っていく。

(1) 運営委員会

- ◆ 各専門委員会の活動状況等の情報共有並びに抱える課題解決について協議し、基本方針を決定する。
- ◆ 各専門委員会について連携強化を支援・促進し、より振興及び推進力のある組織にする。

(2) 関連産業専門委員会

- ◆ 政策企画会議・各専門委員会からのタイムリーな情報提供
- ◆ 会員の関心のある話題について情報提供
- ◆ 課題の創出
- ◆ 産業ビジョン 2030 に沿って外部有識者の専門委員会での講演会開催
- ◆ 東京・大阪以外の会員企業との交流機会の創出

(3) 学術専門委員会

- ◆ 日本放射線技術学会(JSRT)との連携を主体に事業を推進する。これまでの活動を継続し、総会学術大会、秋季学術大会、東京支部大会(春、秋)での共催イベントの企画運営を行う。下記を重点項目として推進する。
 - ◇ 日本放射線技術学会(JSRT)との関係強化
 - 医療の質向上のために、AI等の新たなデジタル技術の活用についてJSRTと継続して議論し、医療現場への導入拡大につなげていく。
 - JSRT 学会誌へJIRAの活動を紹介したJIRA トピックスを、掲載して頂くための各種アレンジを行う。
 - JSRT 学会誌の編集委員として、JIRA メンバーをJSRT 編集委員会へ派遣する。
 - JSRT 東京支部へのJIRA メンバーの派遣、およびJSRT 東京支部とJIRAの連携イベントの企画運営を行う。
 - ◇ 学術大会時のJIRA 発表会、JIRA ワークショップの企画運営
 - JSRT 秋季学術大会でのJIRA 発表会の企画運営を行い、JIRA 会員企業からの新製品・新技術・ひと工夫をJSRT 参加者に提供する。
 - JSRT 学術大会でのJIRA ワークショップの企画運営をJIRA 事務局とともに行い、時代の変化に応じた情報連携の場を提供する。

(4) 研修・連携専門委員会

- ◆ 主に会員企業に対して、医療関係を中心にした幅広い分野に関する情報発信を行う。併せて、会員相互の交流および他団体(放射線技師、アカデミア、他医療業界、行政など)との連携を図る。

- ITEM 研修会（見学ツアー）の開催（対象：JIRA 会員企業の主に中小若手社員）毎年 4 月。
- 施設見学会など委員の見識を広める活動を企画する。（対象：JIRA 会員会社）
- カンファレンスパーク活用（セミナー、トピックス、個社ページ）の紹介・推進
- 共催企画の開催などを通じて、日本放射線技術学会（JSRT）との連携を進める。
- JIRA 他委員会・部会などとの交流や連携を図る（各種開催企画への呼びかけなど）。